

5歳児 はと組 指導案

2年保育5歳児 男児11名 女児16名 計27名

1 クラスの実態

幼児の姿	本日までの指導の経過
<p data-bbox="120 344 389 384">もっとつなげよう！</p> <ul data-bbox="103 400 1111 576" style="list-style-type: none"> 5月中旬、ある幼児が段ボールを組み合わせて迷路を作ると、たくさんの幼児が興味をもち、中に入って遊ぶ姿が見られた。「もっとつなげよう」「ここをゴールにしよう」「ここでクイズを出そう」などいろいろな発想が出てきて、試行錯誤しながら自分なりに思いを実現しようとする姿が見られた。 <p data-bbox="120 587 389 627">おばけ迷路にしよう</p> <ul data-bbox="103 643 1111 914" style="list-style-type: none"> 段ボールの迷路はいつしか「おばけ迷路」となり、画用紙やカラーポリ袋におばけの絵を描いて迷路の所々に貼っていた。また、中に友達が入ると、外から段ボールを揺さぶったり、急に「わー！」と声を出したりしておどかさず姿が見られた。中に入ることも、外からおどかさずことも楽しんでいた。「自分がおばけになりたい」というつぶやきから、大きな段ボールを用意すると、通路ができ「おばけやしき」というイメージが膨らんでいった。 <p data-bbox="120 925 434 965">もっとおばけを作ろう</p> <ul data-bbox="103 981 1111 1485" style="list-style-type: none"> 自分がおばけになりたいという意欲が高まると、「かさおばけを作りたいな」「途中でおばけが待っているといいな」などいろいろなイメージが膨らみ、画用紙やカラーポリ袋だけでなく、いろいろな素材に目が向くようになった。 降園前のひとときに、「こんなおばけを作りました」「こんなところを工夫しました」など思いをみんなで伝え合うことで、いろいろな素材や作り方に興味をもつ様子が伺えた。 友達同士で刺激し合い、一人一人の思いを実現していくことで、おばけ迷路がさらに楽しい遊び場となってきている。本日は、おばけになる楽しさやおばけやしきを探検する楽しさを味わうとともに、さらにイメージを膨らませておばけやしきを作る楽しさも味わいたい。 	<p data-bbox="1272 344 2002 384">(具体的な教師の援助・教師の願い ○)</p> <p data-bbox="1397 443 1877 483">やりたいイメージを実現してほしい</p> <ul data-bbox="1137 499 2154 722" style="list-style-type: none"> 幼児の興味や関心がどこに向いているのか、よく理解するようにした。 教師が幼児の思いを受け止めて言葉にしたり、一緒に作ったりしていると、他の幼児も興味をもちやすい。 気付いたり感じたりしたことを表現しようとする姿を温かく見守り、他の幼児にも伝えていきたい。 <p data-bbox="1420 738 1861 778">おばけのイメージが膨らむように</p> <ul data-bbox="1137 786 2154 1010" style="list-style-type: none"> なんとなくやってみたいイメージがあっても、実際何を使ってどのように作ったらよいかわからない幼児もいる。そこでまず、おばけの具体的なイメージが膨らむように、おばけに関する絵本をたくさん用意した。またクラスみんなでイメージが共有できるように、降園前のひとときなどにみんなで見る機会をつくった。 <p data-bbox="1346 1026 1966 1066">自分達で作ったという満足感が味わえるように</p> <ul data-bbox="1137 1074 2154 1393" style="list-style-type: none"> 目的に合った素材を選ぶ、ということに意識してほしいので、みんなで集まった時に工夫したところを伝え合う機会をつくった。 作りたいイメージが実現できるように、また幼児が試行錯誤を重ねながらよりイメージに合ったものが作れるように、身近な素材を豊富に用意し、好きに使えるようにしておいた。 幼児の「こうしたい」という思いを受け止め、それが実現できるようにヒントを出したり手を貸したりして援助していきたい。

2 展開 おばけやしきで遊ぼう！

ねらい	○ 感じたこと、考えたことを伸び伸びと表現し、友達と共感しあう喜びを味わう。	内容	○ 友達と一緒に遊びを考えたり、工夫したりしながら、おばけやしきごっこをする。 ○ 見たこと、考えたことを、いろいろな材料を使って、工夫して表現する。
時刻	生活の流れ	環境構成と配慮事項	
8：15～ 9：00	○登園する ・あいさつをする ・所持品の始末をする ・おたより帳にシールを貼る ○栽培物の世話をする	<div data-bbox="808 323 981 363" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">朝の出会い</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児ひとりひとりと明るく挨拶を交わし、気持ち良く一日がスタートできるようにするとともに、健康状態を視診していく。 ・ ミニヒマワリやシカクマメなどの栽培物に進んで水やりをする姿を見守り、生長に気付いたり感動する幼児の姿を受け止めていく。 	
10：00 10：45 11：00	○遊びに必要な場を作る ○おばけやしきで遊ぶ ・おばけになる ・おばけやしきを探検する ・おばけを作る ○片付けをする ○給食の準備をする ・食事をする ・片付けをする ・歯磨きをする ○ピカピカタイム	<div data-bbox="808 523 1238 563" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">おばけやしきで遊ぼう</div> <ul style="list-style-type: none"> ◎ 遊びを楽しむ中で、発見や驚き、疑問に思ったことなどを教師も共感的に受け止め、試したり、確かめたりして、追求していけるように働きかけていく。 ◎ おばけらしく表現して楽しむ姿を認め、表現する喜びを味わえるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ おばけやしきの雰囲気が高まるような BGM を流す ・ 自分の思いや考えを相手に伝えようとしたり、相手の話を聞こうとする態度を認める。お互いの思いがぶつかり合うような時には必要に応じて援助する。 ◎ 幼児が気づいたことや工夫したことなどを周囲の幼児にもわかりやすく伝え、遊びのイメージを共通化していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児同士協力している姿や、自分の役を一生懸命果たす姿を認め、周りの幼児にも知らせていく。 ・ 明日も続きができるよう、片づけ方を幼児と一緒に考えていく。 	
13：00 14：15	○降園前のひととき ・身支度をする ・歌「あめふりくまのこ」を 歌う	<div data-bbox="808 1026 1025 1066" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">片付けをする</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児一人一人が進んで片付けられるように、片付ける場所や方法に気付かせていく。 ・ 意欲的に取り組んでいる姿を十分認めていく。 	<div data-bbox="1391 1026 1563 1066" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">食事をする</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姿勢よく座る、お椀を手でもつ、よく噛んで食べる、こぼした物は拾うなど、気持ち良い食事のマナーを場面に応じて気付かせていく。 ・ 音楽を流して楽しい雰囲気にしたり、会話を楽しんだりしながら食事ができるようにする。
14：45	・あいさつをする ○降園する	<div data-bbox="808 1281 1070 1321" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">降園前のひととき</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆったりとしたひとときが過ごせるように、時間を確保していく。 ・ 今日一日を振り返り話し合うことで、満足感を味わったり、友達の思いにも気付けるようにし、明日の活動にも期待がもてるようにしていく。 	

予想される環境構成

【はと組→描いたり作ったりする場】
遊びに必要なものが作れる場を用意しておき、幼児の思いが実現できるようにしておく。

【プレイルーム2→おばけやしき】
少しずつ作ってきた遊びの場を設定してある。

<準備物>

- ・セロテープ
- ・ガムテープ
- ・両面テープ
- ・スズランテープ
- ・ビニールテープ
- ・色画用紙
(大・中・小)
- ・ラシャ紙
- ・新聞紙、広告紙
- ・カラーポリ袋
- ・紙皿、紙コップ
- ・モール
- ・空き箱などの廃材
- ・毛糸
- ・段ボール

※活動の様子によって、その他の素材を提供していく。

